



じとぜんひろば

No.118 2025年(令和7年)9月1日

地御前地区自治会



Google Earthによる鳥瞰画像。港の堤防の形は意外と変わっていない。



Google Earthによる鳥瞰画像。段々の石積みだった斜面が法枠工の保護斜面になっている。(画像左手前) 田んぼだったところにたくさんの住宅が軒を連ねている。丸子山が無くなっている。



戦後初期の地御前港(勝谷正熙さん提供) 昭和27年(1952年)竣工の講堂(公民館兼用)が見える。



地御前小学校、正行寺、西向寺が見える。(画像左上) 地御前保育園ができるまで、お寺は保育園としても地域に貢献していた。現在は阿品台団地になっている山から燃料の薪や落ち葉を拾ってくるのが子どもたちの日課だった。

地御前の今・昔

今年は戦後80年の節目。先人たちが積み重ね、継承してきた暮らし・社会資産・歴史・文化・伝統に目を向けてみよう。

地御前地区自治会 Webはこちらから↓



地御前は、古く平安時代には宮内の庄にあり、中世に宮内と地御前(地の御前)とに別れた。明治22年(1889年)の町村制の施行により地御前村となった。昭和31年(1956年)に廿日市町、平良村、原村、宮内村、地御前村が合併して廿日市町となり、昭和63年(1988年)廿日市市となった。江戸末期に海岸線の新開事業が活発に行われるまでは、桜尾山・藤掛山・JR宮内串戸駅・地御前神社前は海だった。扇新開は1816年に潮止め工事が完了した。地御前港は明治から大正にかけて整備された。大正7年(1918年)に電灯点灯。大正14年(1925年)に広電地御前駅が開設された。大正15年に廿日市での上水道の供用が開始された。今の便利な暮らしがまだなかった昔の地御前が「地御前ものがたり(平成27年発行・地御前地区自治会)」に詰まっている。5年生児童と転入世帯には自治会が贈呈している。ぜひ一読を。

トピックス カルガモの愛情

6月初旬。登校児童の見守りに行く途中、地御前神社横の有附川で、六羽のひなを連れた「カルガモ親子」が、羽を休めているところに遭遇した。通学路のため、その日のうちに好奇心旺盛な児童の知るところとなった。

親子が中州で羽を休め、水中で泳ぐ姿は2〜3日後には、児童だけではなく多くの人の知るところとなった。この地を選んでくれたカルガモ一家。刺激を与えないようみんなで優しく見守ることにした。

その甲斐あってか、暫くは親子が水中で餌をついばみ、隊列をなして中州を歩く愛ら

しい姿をみることができた。

しかし、一週間も経った頃、愛らしいひなの姿が見られなくなった。次の日も次の日も見ることはなかった。

その日を境に、番(つがい)と思われる二羽の親ガモが、ひなの帰りを待っているのか? 朝な夕な、メスは中州で、オスは水中でひなを探している姿が見られた。

わが子を思う健気な姿に哀れみを感じたのは私だけではなかっただろう。

ひながいなくなつて一週間経った頃。親ガモにそつと語り掛けてやった。カモさんよ、この地での子育ては危ない! 今度はずっと安全な場所です育てをしなさい。

それから間もなく、二羽の親ガモが子探しを諦め飛



び立った。丁度その頃。悲しい現実に出くわした。周辺にひなの産毛が散乱していた。カラスが犯人に違いない! カルガモの強い愛情と、自然界の厳しさを実感した二週間だった。投稿日…令和7年7月15日 投稿者氏名…崎村 六士 田屋在住

10月13日(祝月) スポーツフェスティバル 開催



三共デイスプレイ・グリーンフィールドの広い芝生のグラウンドを活かして、いろいろな世代が集って自由にスポーツやゲームが楽しめるイベントを開催します。ウォーキング・フットボールやモルックなど、誰でもできるスポーツを軸に、より柔軟なスケジュールにして子どもから大人まで誰でも参加がしやすいように計画しています。児童や幼児のためのゲームも用意しました。申し込みや詳細は自治会Webから確認するか、地御前市民センターの申し込み用紙を利用してください。保健体育事業部 田村

編集後記

★正月から5年日記をつけ始めた。何も書くことがない日が多々あり、そんなもったいない1日は無くそうと思った。普段なら選ばない事や、よりやりたい事の方を選ぶようにした。それも忘れそうになるが、日記は一番身近なアドバイザーでありカウンセラーの役目を静かに果たしてくれている。★80年前、地御前国民学校は原爆罹災者の救護所にあてられた。9月3日に閉じるまでに1948人が収容され、226人が茶毘(だび)にふされた。今では信じられない現実だ。平和の意味に比べたら、戦争に意味などない。でも80年前はそうではなかった。戦争に意味を持たせない責任が私たちにはある。★早朝の地御前神社。静かに手を合わせる方々がどこからともなく現れる。何処かの様々な無私の行為に人は支えられ、心はつながっているのだと感じた。 J・K 投稿をよろしく願います。 RXE15645@nifty.ne.jp まで。

【発行】 地御前市民センター内 地御前地区自治会 広報事業部

8月15日(金) 地御前盆踊り

盆踊りの櫓建てが8時から始まり、12時前に会場準備がひと通り完了した。とにかく暑かったが、途中の休憩で冷たいおしぼりや麦茶を頂きながら、運んだり、組み立てたり、並べたり…何とか乗り切った。こういった行事で一緒に汗を流すいつもの顔ぶれ以外にも、若いお父さんたちが何人か加わってくれていた。



外部分電盤から電源を取り、提灯の白熱球の取り付け。並行して櫓も組み上がっている。

6時からのスタートには、ハッピー・オレンジが「ともに(WANIMA)」を浴衣で踊り、駆流舞(カルマ)の迫力あるロック・ソーランが披露された。炭坑節、若い街だよ廿日市市、きよしのズンドコ節、けん玉音頭を踊った。けん玉音頭の踊りの輪に砂原先生(その曲を歌ってる人)が隠れキャラで登場していた事には何人が気付いただろう。



駆流舞のパフォーマンス。突然駆け寄る演出にびっくりしている平口議員と松本市長

そうしていよいよ地御前郷土文化保存会による「春徳丸・宮島八景」が始まった。1時間近くぶつ通しで演奏し、踊った。昔は一晚中やっていたらしい。途中、家に帰ってひと休みをして、また来て踊っていたとか：一晚中：…という話は聞いていたが、暑い中で今回のような長い時間演ったのは初めてだったので、またひとつタイムマシン体験をすることができた。



長〜い時間伝統民謡が演奏されると、そのうち踊りの輪が賑やかになり、最後は根競べに。

「昔は、太鼓を間違えると年寄りの怒鳴り声が飛んできた。」毎月の練習の時に聞いたことがある美川会長の体験談。今年は今までになく暑くて長くて、唄も太鼓も途中何度もグダグダになった。「太鼓！まちごうとるどお〜！」と野次が飛んだ。踊りながらそう大声で言っていたのは美川会長だった。でも嬉しそう。



りんご飴、ポップコーン、フランクフルト、リング焼き、かき氷、ジュース・ビール、輪投げコーナーも用意されて賑わった。

元々は「供養盆踊り」と言われて、盆踊りを始める前に、お坊さんがお経をあげていた。それもやらなくなつて、だんだんといろんなものが繋がりにくくなつて来ている気がする。せめて名称だけでも残して、少しでもいろんなことに気づくきっかけにしたいものだ。お墓参り以外にも、みんなでごんなに汗を流す先祖供養が昔から行われていることに気が付いたら、盆踊りも、地域の人たちも、子どもの笑顔も、見え方が違ってくる。今年は戦後80年。

モルック・ペタンク交流会

7月26日(土) 田屋集会所にて保健体育事業部主催のモルック・ペタンク交流会を開催しました。

子ども7人 大人8人の参加でした。初めてペタンクをやる子どもたちばかりでした。ゲーム終盤、最後の大どんでん返しに子どもたちは大はしゃぎ。はしゃぐ姿がまた可愛かったです。

あつという間の楽しい2時間でした。次回は9月予定。扇園集会所で開催予定です。皆さん。ぜひ集まってくださいねえ！

保健体育事業部 田村



夏休みラジオ体操

今年も地御前のラジオ体操が4箇所(扇園公園、地御前市民センター、地御前神社、キラキラ公園)で、7月22日(火)朝6時半から行われました。以前は子ども会で行っているところもありましたが、今は自治会保健体育事業部がお世話をしています。

暑くて夏休みでも外で子どもたちが遊んでいるところを見ない昨今。子どもたちと一緒にできるラジオ体操は、大人にとっても、子どもにとっても貴重な交流の場です。お盆の週を除いた8月29日(金)までの月〜金に行いました。



地御前市民センターでは多い時90名の老若男女が参加した。



ラジオ体操の後でペタンクやモルックをすることもありました。

野坂中卓球部 広島県卓球選手権大会 男子団体優勝！



新見さん(前列左端)は阿品台中出身、元地御前小PTA会長、消防団に所属。

令和7年7月30日に福山市で行われた「広島県中学校卓球選手権大会」で野坂中学校卓球部が男子団体で初優勝しました！

この数年、大竹・廿日市の地区大会で団体戦男子では7連覇をしていました。県大会では予選リーグ敗退から決勝トーナメント進出と出場回を重ねるごとに結果を上げてきたところでした。

予選を順調に勝利し、決勝トーナメントへ。トーナメントの3戦はいずれも最終試合で勝利を決めるといいう手に汗を握る展開でした。「いくら劣勢でも試合を諦めずに喰らいつく姿勢」と「逆転を信じ鼓舞し続ける仲間の声援」で逆転



ドッジボール 全国大会出場！ 金剛寺ファイターズ

に次ぐ逆転を呼び、初の県選手権優勝を勝ち取りました。小学生の皆さん、野坂中の部活はぜひ卓球部へ！卓球部ボランティアコーチ 新見真幸

小学生のドッジボール全国大会に広島県代表として4年ぶりに金剛寺ファイターズが出場しました。(地御前小学校生徒4名が出場)

さんぐりクラブ 夏のお楽しみ！ そうめん流し



夏休みの初日は文化事業部主催のさんぐりクラブの日でした。市民センター講堂には集合時間前から子ども



もたちが元気に集まりました。さんぐりクラブのそうめん流しは本格的で、本物の青竹を使います。文化事業部の方々が当日までに竹を切ってきて半分に割り、竹の節を取り除きます。また「子どもたちの手にすいばり」が立ったらいけんけん」内側をグラインダーで滑らかにします。



当日は朝早くから前述の半割の青竹をつないで水路を設置し、丁度いい速さで水が流れるように角度を調整して準備完了。子どもたちが集まってからは、各自がそうめんを食べる竹の器作りをしました。市民センター内の日陰



青少年事業部 石川未波 (高3・防災士)